

○ 進捗状況

令和5年度より診療連携モデル事業（参考資料4）を推進し、実施に向けて鎌倉市と調整中。他2自治体においても、キーパーソンとなる医師を中心に、調整中。

【実施に向けた課題】

- ①モデル事業を実施する自治体が、郡市医師会、腎臓専門医等の地域協議会を開催する際の事務局の負担が大きく、関連予算の確保が必要
- ②紹介基準に基づいた患者の抽出に係る事務負担
- ③かかりつけ医と腎臓専門医の患者の抽出基準のギャップ



【対応方針】

- ①既存会議の活用（糖尿病の圏域連携会議等）
- ②（新）循環器病腎硬化症重症化予防事業（仮称）との連携
- ③国民健康保険中央会が持っている腎機能予測ツールを活用し、かかりつけ医と腎臓専門医の患者抽出における共通認識をサポート

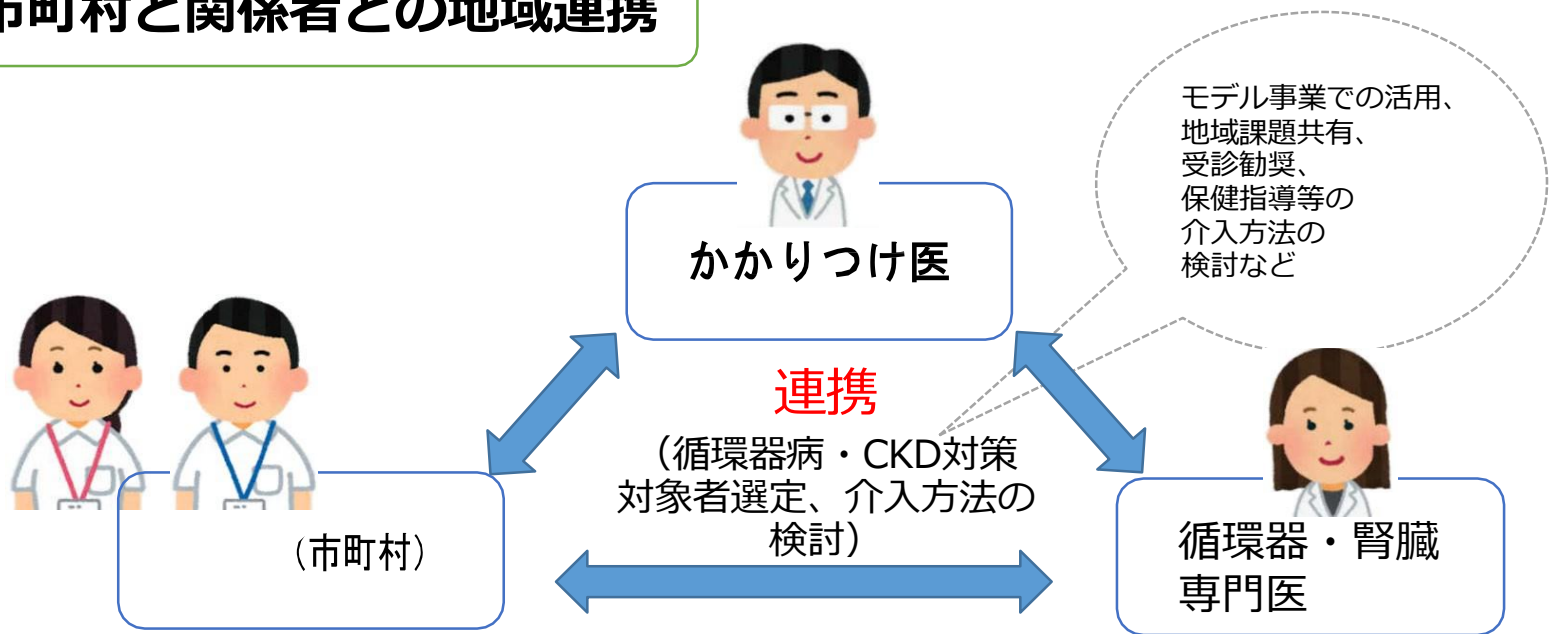
CKD診療連携モデル事業の今後について

未定稿

循環器病腎硬化症重症化予防事業（仮称）

新 循環器病やCKDに特化した市町村単位でのデータ分析支援
（国保患者のレセプトや 国保特定健診データをもとに、県が市町村に対象者名簿を提供）

市町村と関係者との地域連携



県

- ・循環器病やCKDに特化したデータ分析結果（国保レセプト・特定健診データを活用）を県が市町村に提供。
- ・関係者との地域連携の場で、課題共有や事業見直しに活用。

C K D 診療連携モデル事業の今後について

循環器病腎硬化症重症化予防事業（仮称）

1 目 的

- 市町村の高血圧対策事業における治療中断者及び健診ハイリスク者等に適切な介入を行うことで、循環器病の発症予防や人工透析への移行を防止するとともに、医療費の適正化を図る。

2 事業スキーム

（1）モデル事業参加市町村

2～3市町村

※令和7年1月に公募実施予定

（2）市町村による治療中断者及び健診ハイリスク者への対策

- ハイリスク層のリストを基に、アプローチ方法等について郡市医師会等からの助言により、連携を強化
- 電話や直接訪問による健康状態の把握、特定健診及び医療機関の受診勧奨（一部自治体では実施中）

C K D 診療連携モデル事業の今後について

- (3) 治療中断者及び健診ハイリスク者の抽出（国保連に委託）
- 過去5年分（レセプト保存期間）の健診歴・受診歴を突合することにより、「特定健診受診・医療機関未受診」（Ⅰエリア）及び「特定健診未受診・医療機関未受診」（Ⅳエリア）に該当する者を抽出し、さらにその中から治療中断者及び健診ハイリスク者を抽出する。
 - 抽出したデータは全市町村に提供する。

健診受診の有無・医療機関受診(レセプト)の有無で健康状態等を4つのエリアに分けて把握				
特定健診対象者 人		特定健診		
		受診 人	未受診 人	
医療機関	未受診 人	Ⅰエリア 人 健診結果から把握 ・高血圧等(①～③) 人 ・高血圧等(①～③)+腎機能低下(④) 人 ○保健指導の検討、医療機関受診勧奨 健診ハイリスク者	Ⅳエリア 人 健診状態未把握 ○過去の健診・レセプト確認、健診・医療機関受診勧奨 治療中断者	
	受診 人	Ⅱエリア 人 レセプト・健診結果から把握 ・糖尿病性を除く腎症 人 ・高血圧 人 ・生活習慣病 人 ・高血圧治療中断(可能性あり)または 糖尿病性を除く腎症治療中断(可能性あり)かつ 糖尿病性腎症除く 人 ○保健指導の検討等	Ⅲエリア 人 レセプトから把握 ・糖尿病性を除く腎症 人 ・高血圧 人 ・生活習慣病 人 ・高血圧治療中断(可能性あり)または 糖尿病性を除く腎症治療中断(可能性あり)かつ 糖尿病性腎症除く 人 ○保健指導の検討、健診受診勧奨	

CKD診療連携モデル事業の今後について

(4) 抽出条件 (案)

NEW

循環器病腎硬化症重症化予防事業

健診ハイリスク者

- eGFR 45～59ml/分/1.73m²かつ
以下すべて
 - 高血圧
 - HbA1c or 血糖値
 - LDLコレステロール
 - 高血圧で医療機関未受診(直近1年)
 - 特定保健指導非該当者

治療中断者

- レセプト情報による抽出

糖尿病性腎症重症化予防

健診ハイリスク者

eGFR 45～59ml/分/1.73m²
かつ

いずれかひとつ

- HbA1c 6.5
- 血糖値 126以上
- 尿蛋白±

治療中断者

- レセプト情報による抽出

CKD診療連携モデル事業の今後について

○ 本協議会について

【設置目的】

かかりつけ医から腎臓専門医への診療連携による慢性腎臓病（CKD）の診療連携体制を構築するための課題抽出や全体方針、役割分担等を協議するために設置された。

【現状】

CKD診療連携モデル事業を実施する自治体との調整が進んでおり、今後は実施までに関係者で打合せを行っていくこととなる。



【今後】

一定の目途が立ったため、慢性腎臓病（CKD）について、広く正しい知識の普及に努め、予防、重症化の防止を図ることを目的として設置されている神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会の中で扱っていくこととしたい。

（本協議会の構成員である医療保険者は設置要綱の整理ができ次第、神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会の構成員となってもらふ予定。それまではオブザーバー等で参加してもらふことを検討）